

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
to Rotary Club President & Secretary



超我の奉仕

地区協議会 開催の意義

国際ロータリー第2790地区

2005 - 2006年度 ガバナー 山中義忠

本日は休日にも拘わらず、当地区次期年度の管理運営、そして奉仕活動の方針を研修する本協議会に御出席戴き、只厚く御礼申し上げます。R I 細則(050,020,)によりガバナーは、本会を開催致しますが、研修内容は実質、白鳥政孝ガバナー・エレクトが、次期地区研修リーダー、次期カウンセラー、アドバイザーと共に、次期ガバナー補佐、次期各地区委員会、次期クラブ会長、幹事、次期のクラブ四大奉仕、新世代、財団、米山の各委員長に対して行う、次期指導者研修集会なのであります。改めて御参加頂きましたパスト・ガバナーの皆様、それに本会のホスト・クラブの皆様、次年度ホスト・クラブの方々に、心から御礼申し上げます。

今、ロータリーが抱える最重要課題は、会員の減少であります。この事実は、当然ながら会費だけから成る個クラブの運営を圧迫し、奉仕活動をも鈍化させております。当地区の会員数は、今年度初頭に比し11月末日に69名の増加と、順調に増加しましたが、12月上半期末での退会が多く、本年1月末日現在50名減の19名増となっております。

減少幅は小さくなっておりますが、今一番大切なのは、下半期6月末日までの退会者を先ず、防止することにあります。

下げ止まりが見えてきた現在、ここまで持ち堪えた会員皆様の御努力に、私は、深く感謝申し上げます。

次年度のロータリーに必要なのは、若い人々の心を掴むテーマと、ロータリーの心であります。それは超我の奉仕 即ち 愛と平和の実践であります。

その基本理念は、我々が皆、自分の母から貰った生命と超我の愛、世界大戦の中で、自らの命を捨てても子の生命を守った母の不戦と平和の実践なのであります。

ロータリーとは何、と問われた時、私は即座に答えます、愛と平和を実践する個人だと。

このロータリー理念と、全地球の全生物を十数回も完全に抹殺できる悪魔の武器を廃棄する方策を、ロータリーは世界の若者に教えなくてはなりません。それが出来れば、若者はきっとロータリーに入会してくれます。

次年度こそ、人命と超我の愛、不戦と平和を躊躇することなく世界に発信出来る地区に成って頂きたいのであります。

有難う御座いました。

【地区協議会冊子より】



親愛なるロータリアンの皆さん

ロータリーは、個々の部分の集まりである以上の存在です。クラブや地区の活動、奨学金や交換活動、大規模で多様な人道的プロジェクトなど、ロータリーのすべてのプログラムは、それぞれ目的を異にしています。世界中のどの2つのクラブをとっても同じではなく、このような多様性こそが私たちの強みとなっているのです。

世界中のどこにでも、より良い未来を築くことが可能だということ、そして、寛容の精神、違いに対する容認、高い倫理的価値は、成功への障壁ではなく、むしろ成功へ至る道なのだということを、私たちは共に世界に示していきます。

倫理的課題が山積みとなっている今日の世界においては、平和の構築にとって、国家間の協力と違いに対する容認が不可欠です。そんな中にあり、ロータリーは、人々が切に必要としている決然とした高潔さ、国際的な協力、ボランティア精神の模範を示しています。

2006-07 ロータリー年度の私のテーマ、「率先しよう」は、ロータリアンが世界を変える力を持っているという私の信念を表しています。親睦と奉仕を通じて明るい未来をもたらすために、120万人のロータリアンが力を合わせて率先していくのです。

今日の世界は、スターではなく、真の英雄を必要としています。ロータリーにいる私たちは皆、多忙な日々を送りながらも、ベストを尽くそうとする、普通の人々です。私たちは、幾千にも異なる方法で、世界をより良く、より健全かつ安全にするために黙々と活動しています。私たちロータリアンは、奉仕を選ぶ際に、感情のなすがままではなく、実用と必要性に基づいて立ち上がらなければならないと、私は強く信じています。真のニーズが何であるかを見極め、柔軟で協力的な姿勢で活動に臨まなければなりません。ロータリーの奉仕は一方通行であってはなりません。すべてのプロジェクトは、私たちが援助する人々と協同して行わなければならないのです。

世界中には、数え切れないほどの途方もなく大きなニーズが存在します。ロータリアンとしてそれらすべてを満たしたいと思うのは当然のことですが、同時に私たちは実用性を重んじ、最も必要とされているところに努力を注いでいかなければならないことを心得ています。このことを踏まえて、私は、水保全、識字率向上、保健および飢餓、ロータリー家族を、2006-07年度の強調事項として選びました。

ロータリーの外では、発展途上地域で清潔で安全な飲み水が不足しているという事実に対する認識があまりに低いのが現状です。もし自然災害が1日に6千人の5歳以下の子供の命を奪ったとしたら、それは新聞の一面記事となるでしょう。しかし、水系伝染病によって、毎日、6千人の子供が命を失っている事実を知る人は少ないのです。このような問題は、地元での小規模なプロジェクトを通じて、非常に効果的に取り組むことができますし、長年にわたってロータリーのプロジェクトが取り上げ、成果を収めてきました。私は、ロータリー世界各地のクラブや地区に、この活動を引き続き展開し、必要とされている場所ならどこでも、一つ一つの地域社会に、清潔な飲み水をもたらすために活動していただけるよう奨励いたします。

本好きな家庭に生まれ育った私にとって、識字能力は大変重要であり、識字能力が社会にもたらす恩恵は測り知れないほど大きなものであると考えています。識字能力は、国家における民主主義、安定、繁栄の必要条件です。それは、貧困の輪から抜け出す可能性、そして次世代により良い生活をもたらす可能性を秘めています。識字率向上は、多くのRI会長の優先事項となってきましたし、今後もそうあり続けなければなりません。

保健および飢餓は、ロータリー・クラブが地元で行っている活動の多くで取り上げられている問題です。これらのプロジェクトはロータリーの奉仕の中核であり、ポリオ・プラスという素晴らしい業績を生み出しました。私たちは、ポリオの撲滅が実現するまでこの活動を続け、また、ロータリーの名を世界中に知らしめている数多くの多様な保健プロジェクトや飢餓救済プロジェクトを今後も実施していかなくてはなりません。

私は、今年度、再びロータリー家族を取り上げ、ロータリー家族のすべての人々に等しく思いやりの心を持つことを強調したいと思います。ロータリーの将来を健全に保つためには、青少年交換、インターアクト、ローターアクトといった青少年プログラムが不可欠です。これらのプログラムは、次世代に、誠実さ、寛容、無私の精神を育み、ロータリーの活動を助長するものです。ロータリー家族とその配偶者を思い遣ることで、ロータリーの結束力は一層強まります。

2006-07年度、ロータリーが各個人にもたらすことのできる可能性、そして各個人がロータリーにもたらすことのできる可能性を中心に組み込まれるよう、世界中のロータリアンにお願いしていく所存です。共に協力し、さらなる成功へ向けて「率先しよう」ではありませんか。また、引き続き真のニーズを特定し、地域社会や諸団体と協力しながら、これらのニーズが理想主義や夢想ではなく着実な努力と確かな知識に基づいた、実用的かつ持続可能な方法で取り組まれることをこの目で確かめていこうではありませんか。

私たちロータリアンは、より良い世界を夢見るだけでは十分でないことを知っています。より良い世界は、慎重な計画、誠実な協力、ひたむきな努力によってのみ実現するのです。

私たちロータリアンは、実現をただ待ち望むだけではありません。共に、「率先しよう」のテーマを実践していきましょう。

ビル・ボイド

2006-07年度 国際ロータリー会長



2006-07 年度 RI 会長テーマ

ガバナーエレクト 白鳥 政孝

2006 年国際協議会は、2 月 16 日～23 日にわたり、アナハイムから移動しての最初の国際協議会となる米国カリフォルニア州サンディエゴにて開催されました。

2 月 17 日の開会本会議において、ステンハマー RI 会長の開催挨拶の後、ニュージーランド出身のウィリアム・B・ボイド RI 会長エレクトが登壇し、静かに語りかけました。

より良きロータリーとより良きロータリアン

冒頭に会長エレクトは、「ロータリー・モザイク」の 1 節を紹介しました。この本は同じニュージーランド出身のハロルド・トーマス元 RI 会長（1959-60）によって書かれたものです。ハロルド・トーマスさんが、自ら主催した国際協議会において話された『方法と技術と手続きがなければ、国際ロータリーのような組織はもちろんのこと、一ロータリークラブさえ運営することは出来ない。だとすれば、そのような機構を用いるからには最高のものを備えなければならない。しかし、機構は目的ではなく、あくまで目的達成のための手段に過ぎないということを銘記すべきです。目指すところは良きロータリーと良きロータリアンにほかなりません』。半世紀近くの年月が流れた現在も、目的は変わらず、ここへ来て学ぶ目的は、より良きロータリーとより良きロータリアンです」と述べ、さらに「ロータリーのリーダーであることの意味は、クラブとロータリアンを優先することです。ロータリーにおいては、他の会員よりえらい会員はただ一人として存在しないことを肝に銘じておくことです。他より重要な責務に携わる会員はいるが、他より重要な会員はいない。一人ひとりのクラブ会員、クラブ会長、地区ガバナー、理事、そして RI 会長は、みな等しくロータリーの一部であり、ロータリーの将来の一部である」と述べました。

“LEAD THE WAY”「率先しよう」

寛容と思いやりと誠実さを日々実践し、自からが手本を示すことによって、ロータリーの道を率先しよう。そして良きリーダーたるものが謙虚さを備えていることを踏まえ、親切心と微笑みを持って率先していこうと呼びかけ、“LEAD THE WAY”「率先しよう」を 2006-07 年度 RI 会長テーマとしました。「従来のやり方を惰性としてそのまま繰り返すような現状に甘んじることなく、生じた問題に対して、誰かが解決するだろうなどと責任逃れすることなく、それどころか、解決しようと、自ら先陣を切るのが私たちです。それに、より良い未来を築く技術と願望を備えているのが私たちです。そして、「率先しよう」と立ち上がるのが私たちなのです。私たちが一人ひとり善行を為すことによって着実に世界を変えていくロータリアンの力を信じています」と言ってロータリアンに対して絶大な信頼を寄せ、ロータリアンの力に期待する信念を表明しました。

保水、識字、保健と飢餓、家族

保水、識字率向上、保健と飢餓防止と家族の絆の強化を強調事項として、「多数の人が物事を良くしようと決断すれば、物事は良い方へと変わっていきます。一つ目的の下に普通の人が集まる時、変化を起こすことができるのです」と言って、半世紀前のハロルド・トーマス氏が抱いた目的と同じ共通の目的を持って集まっている私たちの目的は、今も昔も変わることなく、良きロータリーと良きロータリアンであると締めくくりました。

簡明なフレーズでしたが、私たちが惰性に陥り、問題を先送りしていたことへの痛烈な一撃のテーマでありました。



地区チーム研修セミナー・PETSを終えて

次期地区幹事長 小池 清二

昨年の1月末に地区の皆様のご理解を得て、白鳥ガバナーノミニーが選任されました。それ以後、私が地区幹事に推薦され、来るべきガバナー年度の為、調査研究を開始し、各種地区委員会に出席させて頂きました。地区では多くの委員会が設置され運営されて居る事は感じて居りましたが、実際参加して目の前で会議を拝聴して見ますと、想像とは違い、ロータリーの伝統の中、不易流行を感じました。1年2ヶ月の間の会議に参加した数は72回。数の多うさに自分ながら驚いております。昨年の山中ガバナー年度の地区チーム研修セミナーを皮切りに、PETS、地区協議会、地区大会、地区大会記念ゴルフ大会と5つのイベントを見学し、白鳥ガバナー年度に備えるべき準備をして参りました。この他、地区運営に関する会議として地区幹事会が開かれ、25回出席し、時宜に応じた協議事項の審議の成り行きを見て参りました。「百聞は一見にしかず」と言う思いで多くの会議に参加することで大変情報を得ることが出来ました。山中ガバナー事務所の浜名幹事長さんにはその都度ご教授を頂いて居り感謝しております。

この様に5つの行事と地区委員会、地区幹事会の会議に参加することで、年間の地区ロータリーの機構や活動の流れが理解出来ました。

白鳥ガバナー事務所も昨年7月には開設致し、優秀な女性事務職員を招き入手した情報の下に実務を開始致しました。例年通り、地区大会後から予算案作りと地区委員会委員の組織図づくりに入り、一応1月の地区資金委員会と諮問委員会に提出し承認を受けております。

2月には白鳥ガバナーエレクトが米国サンジェイゴでの国際会議に出席され研修を積み、RI会長ウィリアム・ビル・ボイド氏のテーマ「LEAD THE WAY」率先して～を胸に秘め帰国いたしました。

3月20日地区チーム研修セミナーが山中ガバナーにより開催されました。地区役員の皆さんが集まり、白鳥ガバナーエレクトからは、各クラブが活性化するために地区委員会は何をなすべきかを問い掛け、その為ガバナー、ガバナー補佐、地区委員が一致団結して活動しようと語気を強く語られました。

又、4月16日には会長エレクト研修セミナー（GETS）が開催され、クラブ会長の責務について研修がなされ、白鳥ガバナーエレクトからも実行可能なクラブ活動に付いて具体的な指針が語られました。この実行には多くの会談が必要で有り、会談をする事で実現出来るのだと、率先して行動することを提唱致しました。

5月20日の地区協議会が終わりますと間もなく白鳥ガバナー年度の到来です。白鳥ガバナーが活躍し易い様にガバナー事務所を守り、各クラブの発展に寄与出来ますよう努力して行きたいと存じますので、何卒ご指導賜りますようお願い致します。



第29回 R.Y.L.A.セミナー報告

国際ロータリー第2790地区
新世代のための委員会
R.Y.L.A.委員長 伊藤 豊



半田信正基調講演

平成17年5月24日(火)、千葉センシティタワーに第1回地区委員会のためにスタッフリーダーと地区委員が集まりました。

それから9ヶ月間、実に色々なことがありましたが、今となって見るとそれぞれが楽しい思い出となって甦ってきます。予定会場が「東金青年の家」から「小見川少年自然の家」に変更になり、河合ラリー班長には片道1時間が2時間と倍になった。地区委員は例年年間10数回の会合を持ちますが、ラリー担当はさらに現地に10回近く足を運ぶのでとても大変です。しかも全く地理不案内の全くのゼロからのスタートでした

から、なおさら大変でしたでしょう。特に忘れられないことのひとつに、平成17年1月14日(土)の「夜間コースの試歩体験」です。本番と同時刻にコース点検をやろうと地区委員5名がふた手に別れて、それぞれA、Bコースをチェックしたのですが、始まる頃から風雨が激しくなりついに台風なみに、長靴も傘も役には立たず少しを残し退散、予約してあった成田の旅館の風呂のなんと有難かったこと……。私たち地区委員が本番の雨対策に自信がついたことは言うまでもありません。今回、本番の「コマ図」がノーミスだったのは、河合班長以下ラリー担当の実行委員の皆様の努力に負う処が大変大きいと思いました。

5月頃に発行予定の R.Y.L.A. レポートは横田記録班班長以下数名の記録担当の実行委員の方々がたった数十枚の写真のために1,000枚を超える写真撮影を昼夜を問わず行ない編集した結果できあがる物です。そして総務班の藤田さん、会計の森さん、実行委員の皆様、スタッフの皆様、恐らくどなたが欠けても今回の R.Y.L.A. セミナーは成功しなかったことでしょう。(もっとも参加者があるという前提条件付きは云うまでもありません。)

平成18年2月24日～26日、総勢130数名により開催されました第29回 R.Y.L.A. セミナー(小見川)はこうにして各委員の用意周到な準備のもと開催されました。当日の天気予報は最悪状態でしたが、25日(土)だけがいい方に予報が外れてくれたおかげで2日目の「実地検証」は傘なしで行うことができましたが、第1日目の夜は冷たい小雨が降り続き、参加者の中には気力が萎えてしまったのか「リタイヤ」が5組も出てしまいました。1日目は完走(完歩)した組はゼロでした。(しかし2日目は難しかったにもかかわらずほとんどの組が制限時間3時間以内に帰ってきました。)

過去の参加者のほとんどの方から毎回 R.Y.L.A. セミナーに参加した感想をもらいます。

その代表的な感想は、①体力、気力は必要。②知識、経験は関係ない。③事実をそのまま見ることの重要性。等ですが、特に③が難しいといえます。人間はいかに「思い込み」「先入観」「固定観念」から逃れにくいものなのか? 歩行ラリーを体験していく中で、痛感した。こういう感想が大半でした。実は R.Y.L.A. セミナーでこの「夜間歩行ラリー」を教材として行っている理由はそこにあるのです。つまり問題を直視し意思決定し、誤りを速やかに認識し、新たな行動へ繋げると

いうプロセスを身につけて頂きたい。その過程で自分だけでなく、ユニットやチームの皆さんとチームワーク力が高まるようにしていくのがチームマネジメントです。「歩行ラリー」の成績に一喜一憂するのではなく、良き結果を出すためのプロセスを重要視してほしいのです。ひょっとしたら人生における大切なことは『決してあきらめない』、『事実をそのまま見る』これなのかも知れません。

(次ページへ続く)



ラリー3

(前ページからの続き)

セミナー終了から半月ほどして、木更津 RC の石井会長から2週に亘ってライラ参加者(栗原のぞみ、佐々木のぞみ)と新世代の本吉委員長のライラ参加報告の様子が載っている週報を送って下さいました。そして3名がとても有意義な研修に参加させて頂き感謝していると結ばれていました。そんなお便りを頂くと本当にありがたい思いでいっぱいになります。勿論打ち上げの席で、委員やスタッフ皆さんにはご披露させていただきました。

最後に、講師を快くお引き受けくださった大本山成田山新勝寺 半田照匡様、吉野和弘様、斉藤豊久様、渡邊隆カウンセラーはじめ地区委員、実行委員、R.Y.L.A.スタッフ、青少年募集に多大なご支援を頂いた各分区のガバナー補佐はじめ各クラブ会長や、大勢のロータリアンの皆様に心から感謝とお礼を申し上げ、今年度の第29回 R.Y.L.A. セミナーの報告とさせていただきます。

皆様、本当にありがとうございました。

☆☆文庫通信(224号)☆☆

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信より

- ◎「ロータリーの旅(合同IM基調講演)」 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
D.2840 月信:2006.1 7p
- ◎「有事のロータリー 阪神大震災 ロータリーは何ができたのか?」 今井鎮雄
D.2500 月信:2006.3 5p
- ◎「識字と教育」 小林 博
D.2510 月信:2006.1 2p
- ◎「クラブの活性化とCLP論争」 中村幸吉
D.2640 月信:2006.2 3p
- ◎「ロータリーと否定の倫理」 塚原房樹
D.2510 月信:2006.1 3p
- ◎「ロータリーの友・雑誌月間(4月)について アンケートの結果報告」 石松憲一郎
D.2740 月信:2006.3 13p
- ◎「第2750地区全クラブの職業分類表について-主に書生会員在籍クラブを中心として-」
D.2750 月信:2005.2 2p
- ◎「座談会 ロータリーの本質を考える～ロータリーの過去、現在、未来～前編・後編」
D.2700 月信:2006.2、3 11p

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

5 月	
7 日 (日)	奨学生第一次選考会 R 財団委員会 第 8 回委員会
11 日 (木)	WCS 委員会 第 11 回委員会
13 日 (土)	米山記念奨学会委員会 オリエンテーション
18 日 (日)	青少年交換委員会 第 8 回オリエンテーション
20 日 (土)	地区協議会 (ホテル・ニューオータニ幕張) 第 6 回ガバナー補佐会議
21 日 (日)	ローターアクト地区年次大会 R 財団委員会 第 9 回委員会 奨学生第二次選考会
27 日 (土)	第 7 回地区諮問委員会
28 日 (日)	野田ロータリークラブ 50 周年記念式典 佐原香取ロータリークラブ 10 周年記念式典

例会場・事務局変更のお知らせ

◆四街道ロータリークラブ

《新例会場》

〒284-0042 千葉県四街道市小名木 268

四街道ゴルフ倶楽部 内

TEL 043-432-8111

《新事務局》

郵送物のみ 同上

TEL・FAX 043-251-0184 (事務局：菊池)

◆船橋・船橋西・船橋 みなとロータリークラブ 合同事務局

《新事務局》

〒273-0012 千葉県船橋市浜町 1-6-5-104

TEL・FAX 047-432-8670 (船橋 RC・船橋西 RC 合同)

TEL・FAX 047-434-0742 (船橋みなと RC 専用)

新ロータリアン



土井繁男

(船橋)

百貨店

平成18年4月4日入会



岩渕行雄

(旭)

畜産業

平成18年4月7日入会



吉塚義雄

(佐原)

フレンチレストラン

平成18年3月27日入会



新原 治

(柏西)

証券業

平成18年3月3日入会



深山能一

(松戸東)

土木工事

平成17年12月16日入会

新PHF



鈴木章浩

(千葉若潮)



片岡隆之

(柏南)



篠塚京子

(柏南)



網島照雄

(千葉若潮)



三原 武

(沼南)

第1回目



亀田速男

(沼南)

第1回目

マルチプルPHF

©2006 年 5 月のロータリーレートは 118 円です

R. I. 第2790地区(千葉)2006年3月出席・会員数報告

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数							分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数							
				女	男	7/1	女	男	今月	増減					女	男	7/1	女	男	今月	増減	
第1 分 区	市 川	100	4	0	47	47	0	49	49	2	第6 分 区	大 多 喜	85.65	3	2	20	22	2	23	25	3	
	市 川 東	92.31	3	0	55	55	0	53	53	-2		横 芝	100	4	0	32	32	0	32	32	0	
	市 川 南	79.00	4	0	22	22	1	20	21	-1		茂 原 東	92.65	4	3	31	34	3	31	34	0	
	浦 安	83.50	5	0	54	54	0	51	51	-3		茂原中央	87.36	3	4	25	29	4	25	29	0	
	市川シビック	75.60	3	0	41	41	0	40	40	-1		大 網	57.84	5	2	34	36	2	35	37	1	
第2 分 区	船 橋	93.25	3	0	33	33	0	31	31	-2	第7 分 区	東金ビュー	72.40	4	1	26	27	2	27	29	2	
	船 橋 西	86.74	5	2	41	43	2	42	44	1		銚 子	83.91	5	1	51	52	1	49	50	-2	
	鎌 ケ 谷	85.00	5	2	29	31	2	27	29	-2		旭	79.00	4	0	52	52	0	53	53	1	
	船 橋 東	94.00	5	3	29	32	4	29	33	1		八 日 市 場	74.35	3	0	38	38	0	39	39	1	
	船 橋 南	94.40	4	3	24	27	3	24	27	0		銚 子 東	80.16	3	0	54	54	0	55	55	1	
	船 橋 北	100	1	0	8	8	0	4	4	-4		第8 分 区	佐 原	80.56	5	0	50	50	0	52	52	2
船橋みなと	77.01	3	9	21	30	7	22	29	-1	多 古	69.70		3	0	23	23	0	23	23	0		
第3 分 区 A	千 葉	88.02	3	0	76	76	0	73	73	-3	第9 分 区		小 見 川	87.92	5	0	31	31	0	30	30	-1
	新 千 葉	92.66	5	0	49	49	0	49	49	0			佐原香取	82.00	4	0	21	21	0	25	25	4
	千 葉 西	86.92	3	4	50	54	4	52	56	2			成 田	87.40	5	0	48	48	0	48	48	0
	千 葉 中央	87.22	5	0	40	40	0	42	42	2			八 街	84.48	4	2	41	43	2	41	43	0
	千 葉 幕張	77.45	3	5	32	37	5	31	36	-1		印 西	76.64	5	0	28	28	0	29	29	1	
	千 葉 東	75.10	3	2	28	30	2	28	30	0		印 旛 中央	70.00	5	0	4	4	0	4	4	0	
第3 分 区 B	千 葉 若潮	81.18	5	1	45	46	1	38	39	-7	第10 分 区	白 井	78.00	4	0	22	22	0	22	22	0	
	千 葉 南	72.14	4	5	47	52	6	48	54	2		富 里	75.27	3	0	28	28	0	31	31	3	
	市 原	85.80	5	3	47	50	4	46	50	0		成田コスモリゾート	69.05	5	0	54	54	0	54	54	0	
	千 葉 港	73.22	4	0	28	28	0	28	28	0		第11 分 区	柏	68.55	4	3	30	33	4	27	31	-2
	市原中央	81.14	3	1	50	51	1	49	50	-1			我 孫 子	76.92	3	0	27	27	0	26	26	-1
	千 葉 北	84.30	4	3	22	25	2	23	25	0			柏 西	92.09	4	1	47	48	1	50	51	3
第4 分 区	千 葉 緑	56.19	3	3	30	33	3	32	35	2	沼 南		74.73	5	1	24	25	1	22	23	-2	
	木 更 津	86.67	5	0	41	41	0	45	45	4	第12 分 区		柏 南	95.30	3	2	35	37	2	34	36	-1
	上 総	69.16	5	0	24	24	0	24	24	0			習 志 野	74.97	4	1	40	41	1	39	40	-1
	富 津	85.00	3	1	22	23	1	19	20	-3		八 千 代	88.00	5	0	54	54	0	54	54	0	
	富津中央	93.48	4	0	21	21	0	23	23	2		佐 倉	42.10	5	2	17	19	2	18	20	1	
	木更津東	83.10	4	0	45	45	0	45	45	0		四 街 道	82.73	3	4	21	25	4	23	27	2	
君 津	95.34	3	3	43	46	3	47	50	4	八千代中央		75.50	3	0	30	30	0	31	31	1		
第5 分 区	袖 ケ 浦	98.48	3	2	19	21	2	22	24	3	第13 分 区	習志野中央	81.20	5	2	31	33	2	34	36	3	
	富津シティ	78.90	4	0	19	19	0	19	19	0		佐 倉 西	56.58	5	2	14	16	3	16	19	3	
	館 山	88.09	4	3	55	58	5	54	59	1		第13 分 区	松 戸	83.11	4	0	41	41	0	46	46	5
	鴨 川	91.30	3	1	26	27	1	24	25	-2			松 戸 東	88.88	5	0	53	53	0	50	50	-3
	勝 浦	88.30	5	1	35	36	1	35	36	0			松 戸 北	73.60	3	0	44	44	0	43	43	-1
	千 倉	83.46	4	0	28	28	0	25	25	-3			松 戸 中央	65.48	4	4	40	44	5	40	45	1
鋸 南	88.30	4	2	19	21	1	17	18	-3	松 戸 西	82.81		4	0	32	32	0	32	32	0		
第6 分 区	館 山 ペイ	65.63	4	0	26	26	0	24	24	-2	野 田		77.73	4	6	50	56	6	50	56	0	
	茂 原	84.68	4	5	70	75	5	68	73	-2	流 山	74.61	5	2	24	26	2	24	26	0		
	東 金	79.99	3	0	31	31	0	35	35	4	野 田 東	76.13	5	0	40	40	0	40	40	0		
	大 原	84.00	4	1	21	22	1	23	24	2		流 山 中央	76.92	3	2	25	27	2	24	26	-1	
												野田セントラル	83.60	4	0	35	35	0	33	33	-2	